

●「さっぽろ都心まちづくり戦略」の策定について

札幌市では、近年の社会情勢の変化により都心を取り巻く状況が大きく変化していることなどを踏まえ、平成14年に策定した「都心まちづくり計画」を補完する今後10年間程度の計画「さっぽろ都心まちづくり戦略」を策定しました。

これは、都心の目指すべき将来像とそれを実現するための基本的な方針などを明示することで、多様な関係主体が協働して一体的にまちづくりを行っていくための指針となるものです。

今後はこの計画に基づき、市民や企業との協働による都心まちづくりを進めていきます。

1 計画策定の背景と目的

(1) 背景

- ① 少子高齢化の急速な進展やライフスタイルの多様化など、成熟社会を迎え都心を取り巻く状況が変化している。
- ② 「市民自治の推進」「環境首都・札幌」「創造都市さっぽろ」などの新たな市政の方向性に対応したまちづくりが求められている。

(2) 目的

新たな時代に対応したまちづくりを行うため、平成14年に策定した「都心まちづくり計画」を補完する、今後10年間程度の都心まちづくりの指針として策定したもの。

2 計画の概要

(1) 都心まちづくりの目標と将来像

- ① 都心まちづくりの目標
「世界に向け魅力を発信し、市民生活を豊かにする都心の創出」
- ② 目指すべき都心の将来像
「人を中心とした魅力あるまち」「新たな文化と活力を創造するまち」
「みどり豊かな環境にやさしいまち」

(2) 都心まちづくりの展開戦略

将来像の実現に向けた具体的な取り組みの方針を5つの「展開戦略」として体系化

- 展開戦略1：さっぽろ象徴戦略
- 展開戦略2：創造都市さっぽろ戦略
- 展開戦略3：環境共生戦略
- 展開戦略4：人を中心とした都心空間戦略
- 展開戦略5：人を中心とした交通戦略

(3) 重点的取り組みと重点地区

- ① 重点的取り組み
 - 4（骨格軸）－1（展開軸）－3（交流拠点）の骨格構造の実現
北三条通と東四丁目線の強化などを推進し、新たな骨格構造を実現する。
 - 交流空間の形成
北三条広場など、市民が憩い集える広場的な空間の創出を推進する。
 - 地下空間の拡充と活用
南一条地下空間などの地下空間の拡充検討と、既存の地下空間も含めた積極的な活用を図る。
 - 界わい空間の創出
民間開発などに合わせた、界わい性を感じる空間の創出を推進する。

② 重点地区

「創成川以東地区」を重点地区に位置付け、官民協働によるまちづくりを促進する。

○ 「創成川以東地区」のまちづくりの動向

居住人口が10年間で約2倍になるほど著しく増加しているほか、四季劇場などの文化施設や医療施設、個性的な飲食店等の地域資源が集積しているなど、高いポテンシャルを有している。

○ 将来像と今後の取り組み

『職』『住』『遊』近接の歩いて暮らせる創造性豊かなまち」を将来像に位置付け、居住を中心に、業務・文化・娯楽などの機能が近接した質の高い生活の場を目指した取り組みを推進する。

3 計画策定までの経緯

(1) 平成20年度 「都心まちづくり戦略会議」の開催

今後10年間程度の都心まちづくりのあり方について議論するため、学識経験者等で構成される会議を開催。平成21年3月までに6回の会議を開催し、基本的な考え方を取りまとめた。

(2) 平成21年度 「都心まちづくり戦略（素案）」の策定

基本的な考え方をもとに庁内で検討を深め、市民議論を行うための「都心まちづくり戦略（素案）」を策定した。

(3) 平成22年3月～10月 地元説明会・意見交換会の開催

計画素案をもとに、都心内の事業者や連合・単位町内会の役員を中心に、18カ所で説明会・意見交換会を開催。延べ約400人が参加した。

(4) 平成22年8月29日 「都心まちづくりフォーラム2010」の開催

今後の都心まちづくりのあり方について、路面電車の活用などの具体的な取り組みを交えながら、基調講演やパネルディスカッションを実施。約330人が参加した。

(5) 平成22年10月～11月 「都心まちづくり戦略（案）」に対する意見を募集

「都心まちづくり戦略（案）」に対する意見を募集し、9人から22件の意見が提出された。

4 計画の公表について

都心まちづくり課（市本庁舎5階）や各区役所等で配布します。また、ホームページ（<http://www.city.sapporo.jp/kikaku/downtown>）からも閲覧できます。

問い合わせ先

市民まちづくり局都心まちづくり推進室都心まちづくり課 芳村・伯谷

電話：211-2692